

R5 「学校評価の4点セット」 作成のポイント

【内容】

- ① 育成を目指す学習の基盤となる資質・能力について
- ② 4点セットでの具現化について
- ③ 各種プランとの連動について
- ④ まとめ

日田教育事務所
令和5年2月

① 育成を目指す学習の基盤となる資質・能力について

そもそも
「育成を目指す資質・能力」を
どのようにして
設定していけばよいのだろうか？



① 育成を目指す学習の基盤となる資質・能力について



実態把握

自分の言葉で説明するのがって難しいなあ。
伝えたいことはあるんだけど、みんなになかなか伝わらなくて面白くないなあ。

要因分析

まずは、説明することが難しいと感じている原因から考えていく必要がありますね。
考えられることは…

・説明するための話型やパターンを知らない。 ・語彙が少ない。といった知識・技能の習得以外に「筋道を立てて自分の思いや考えを伝えることができる力の育成」や目的意識や相手意識を持たせ、何のために説明するのかをはっきりとして「自分の思いや考えを進んで伝えようとする意欲や態度の涵養」も必要ですね。



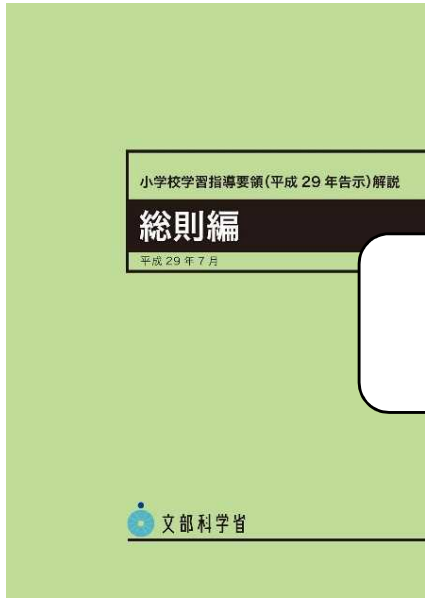
学習の基盤となる「育成を目指す資質・能力」を
「筋道立てて考え表現する力」に設定

① 育成を目指す学習の基盤となる資質・能力について



学校の教育目標

目指す子ども像



育成を目指す
資質・能力

資質・能力の3つの柱で
整理

4点セット



児童生徒の実態
※学校・家庭・地域の実態

➡どのような力が必要か

要因分析



② 4点セットでの具現化について

様式2

令和5年度 学校評価の4点セット（記入上の注意）

1学期

立

学校

令和5年 月 日

【学校の教育目標】

①焦点化すること(できれば1つに)
 ②ここでの「資質・能力」は以下のように捉えること。
 ・「学習の基盤となる」もの…学習指導要領総則には(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)と明記
 ・現代的な諸課題に対応して求められるもの **教科横断的な学習の中で育成されるものと捉える**

【育成を目指す資質・能力】

重点目標	評価	達成指標	評価	重点的取組	取組指標	評価	2学期への改善点
【生きて働く知識及び技能の習得】	○		○			○	
【未知の状況・判断力にも対応できる思考力、判断力等の育成】	○		○			○	
【学びを人生や社会に生かす力、人	○		○			○	

三つの柱で具体化して整理

柱①

重点目標に繋がる「達成指標」及び具体的な「取組指標」を設定

柱②

重点目標に繋がる「達成指標」及び具体的な「取組指標」を設定

柱①、②をどのような方向で動かせるか意図して設定

柱③

重点目標に繋がる「達成指標」及び具体的な「取組指標」を設定

- ①問題点や課題とその要因分析
- ②どのような「資質・能力」を育成する必要があるか、KJ法やSWOT分析を活用し、設定
- ③昨年度4点セットの検証・改善



② 4点セットでの具現化について

【児童生徒の実態】

- 基礎的・基本的な学力が定着できていない。

【要因分析】

- ・そもそも、基礎的・基本的な学力が定着しない原因はどこにあるのか。
- ・どのような資質・能力が育成されると子どもたちは学びに向かうことができそうか。
- ・平素の授業で意識することは何か。教え込みでの授業で定着していないのを子どものせいにしていないか。

【育成を目指す資質・能力】

- 基礎的・基本的な学力

👉何をすればよいか不明確



学習指導要領
総則で
ご確認を

② 4点セットでの具現化について

小学校 算数

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを**理解する**とともに ～ する**技能を身に付ける**ようにする。

「知識及び技能」の**習得**

- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力 ～ **を養う**。

「思考力、判断力、表現力等」の**育成**

- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、～ **態度を養う**。

「学びに向かう力・人間性等」の**涵養**

② 4点セットでの具現化について

「育成を目指す資質・能力」は三つの柱で育成する

学校として 「育成を目指す資質・能力」

重点目標	達成指標
「知識及び技能」の習得	<p>①設定した学校として「育成を目指す資質・能力」を資質・能力の3つの柱で整理 ②柱ごとに重点目標を具体化</p> <p>【留意点】 3つの柱すべてに「育成を目指す資質・能力」を落とし込むこと</p>
「思考力、判断力、表現力等」の育成	
「学びに向かう力・人間性」の涵養	

② 4点セットでの具現化について

【育成を目指す資質・能力】

(例) 「筋道を立てて考え表現する力」

重点目標 (例)	達成指標
知識及び技能の習得 筋道を立てて考えるためのスキルの習得	
思考力、判断力、表現力等の育成 筋道を立てて自分の思いや考えを伝えることができる力の育成	
学びに向かう力・人間性の涵養 自分の思いや考えを進んで伝えようとする意欲や態度の育成	

② 4点セットでの具現化について

資質・能力の三つの柱について

小学校及び中学校学習指導要領解説「総則編」P38

③ 学びに向かう力，人間性等を涵養すること

児童（生徒）が「どのように社会や世界と関わり，よりよい人生を送るか」に関わる「学びに向かう力，人間性等」は，

他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素

である。

② 4点セットでの具現化について

「育成を目指す資質・能力」は三つの柱で育成する

学校として 「育成を目指す資質・能力」

重点目標	達成指標
知識及び技能の習得	「学びに向かう力・人間性」が新たな「知識・技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」に往還される。
思考力、判断力、表現力等の育成	
学びに向かう力・人間性の涵養	「知識・技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」が前提となって「学びに向かう力・人間性」が涵養される。

② 4点セットでの具現化について

(例) 「筋道を立てて考え表現する力」での各種指標

重点目標 (例)	達成指標 (例)
<p data-bbox="190 422 936 502">知識及び技能の習得</p> <p data-bbox="123 534 1019 678">筋道を立てて考えるためのスキルの習得</p>	<p data-bbox="1052 406 2116 574">「自分の考えを（話型を使って）整理することができた」の児童アンケートで4「とても」の評価を●%以上にする。</p> <p data-bbox="1518 550 2101 606">A評価で見とる姿勢が重要</p> <p data-bbox="1075 630 2116 798">(取組指標：授業者は「話型」や「説明の基本形(高学年のみ)」を使って自分の考えを書く場面を毎回設定する)</p>
<p data-bbox="190 837 936 917">思考力、判断力、表現力等の育成</p> <p data-bbox="123 941 1019 1085">筋道を立てて自分の思いや考えを伝えることができる力の育成</p>	<p data-bbox="1052 829 2094 949">国語科と算数科の単元テストの記述式問題で正答率●%以上にする。</p> <p data-bbox="1294 949 2101 1005">単元を通して資質・能力は育成される</p> <p data-bbox="1052 1013 2094 1125">(取組指標：授業者は、国語・算数の単元計画の中で、自分の考えを説明する場面を必ず設定する)</p>
<p data-bbox="190 1181 936 1260">学びに向かう力・人間性の涵養</p> <p data-bbox="123 1300 1019 1444">自分の思いや考えを進んで伝えようとする意欲と態度の育成</p>	<p data-bbox="1052 1157 2072 1324">「相手に自分の思いや考えを伝えることができたから伝えることの楽しさが実感できた」の児童アンケートで4「とても」の評価を●%以上にする。</p> <p data-bbox="1075 1324 1904 1380">涵養が見とれるアンケート項目の設定</p> <p data-bbox="1075 1388 2027 1492">(取組指標：○○は人間関係作りプログラムを毎週●曜日に実施し、振り返りを行う)</p>

③ 各種プランとの連動について

エラー例とその改善策①

育成を目指す資質・能力
問題発見・解決能力

学力向上プラン
授業改善のテーマ・重点
**ICT機器を効果的に取り入れた
わかりやすい授業の創造**

いいえ。こうした考えのもと行っているんです。

連動できて
いませんよ

ICT機器を効果的に取り入れることで

- ・言語のみではイメージ化できにくいものを可視化することにより、比較したり、関連付けたりして必然性のある問題発見能力の育成を図っている。
- ・問題解決の方向性を決定していく過程においてICTで資料等の情報を収集したり、説明資料を作成したりすることにより、問題解決能力の育成を図っている。

ならば、そのような意図が伝わるように明記(言語化)する必要があるのでは？

③ 各種プランとの連動について

エラー例とその改善策②

育成を目指す資質・能力 **問題発見・解決能力**

ICT機器を効果的に取り入れることで

- ・言語のみではイメージ化できにくいものを可視化することにより、比較したり、関連付けたりして必然性のある問題発見能力の育成を図っている。
- ・問題解決の方向性を決定していく過程においてICTで資料等の情報を収集したり、説明資料を作成したりすることにより、問題解決能力の育成を図っている。

学力向上プラン

授業改善のテーマ・重点

子どもが必然性を持って問題発見・解決する授業の創造
～ICT機器の効果的な活用を通して～

言語化することで、共有でき、同じベクトルで推進できる。

まとめ①

■ 学校評価の4点セットの「育成を目指す資質・能力」と学力向上プランの「授業改善のテーマ・重点」が連動することにより、学校全体で組織的な授業改善が進められる。(観点Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ)

「育成を目指す資質・能力」と
学力向上プランの「授業改善のテーマ・重点」が連動

児童生徒の
資質・能力の育成

学力に関する
達成指標

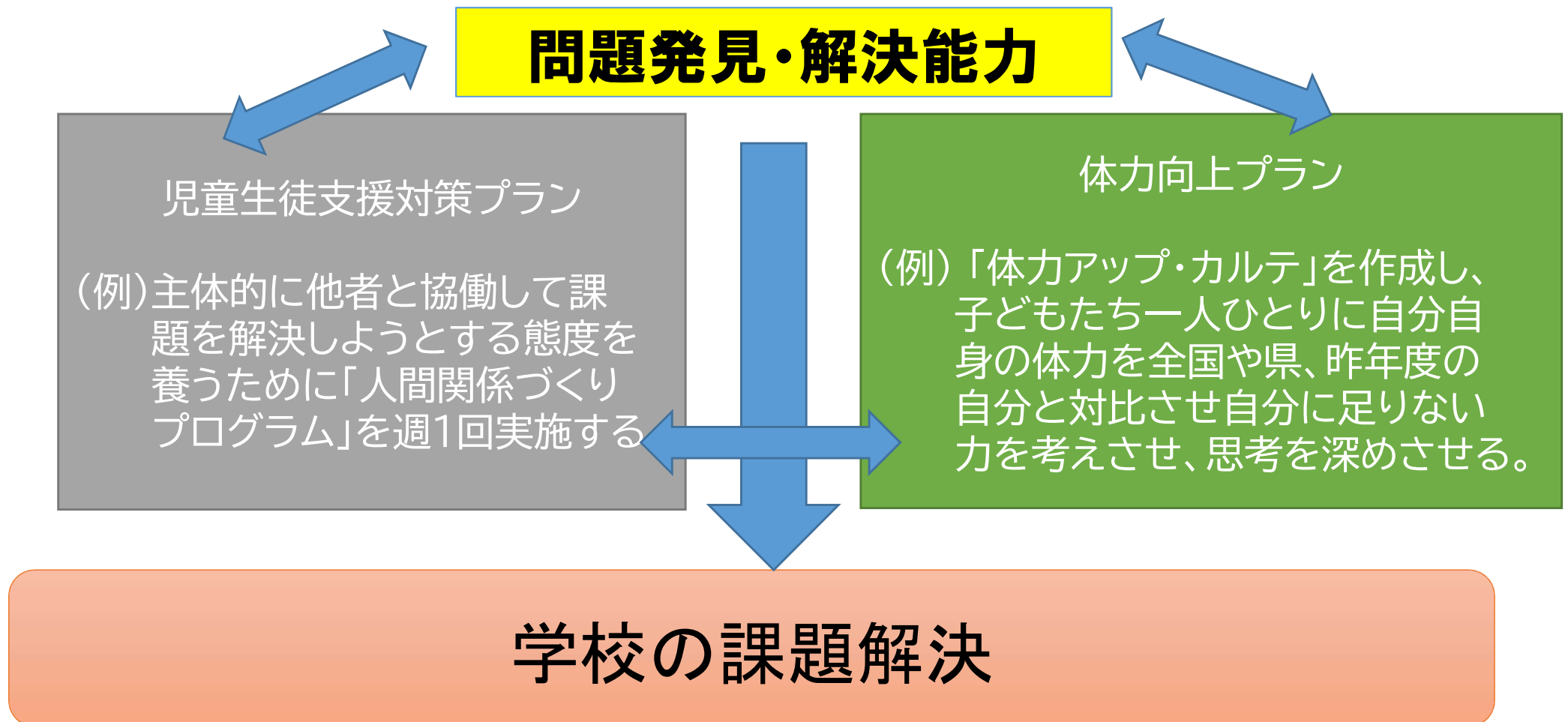
体力に関する
達成指標

アンケート

学校の教育目標の実現

まとめ②

■ 「育成を目指す資質・能力」の共通理解が図られ、カリキュラム・マネジメントが推進されることにより、各種プランにも反映され、検証・改善により学校の課題解決へとつながる。



第3ステージ「学校マネジメント4つの観点」

「全体最適」を目指す相関図

役に立つ
日田教育事務所

目的
子どもたちの有能さを引き出す

学校の教育目標

↑ 見つめなおし

↓ 具現化

目マネ：目標達成マネジメント
組マネ：組織マネジメント

観点Ⅲ 組マネ

観点の肝

主任等が、ミドル・アップダウン・マネジメントを適時・適切に行う

観点Ⅰ 目マネ

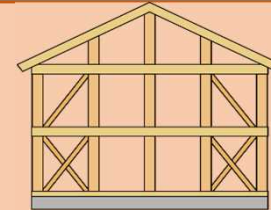
観点の肝

“設計図”が整っている

※全職員の納得解に基づき完全共有ができています

◆「育成を目指す資質・能力」が明確である

- ✓ 1or2つに焦点化された“妥当な”育成を目指す学習の基盤となる資質・能力
- ✓ 資質・能力の3つの「柱」に“適切に”落とし込んでいる



◆「誰が」「何を」「どのくらいの頻度で」など、各指標設定等が整っている

※第Ⅱステージで完了済のはずですが...

- ✓ 各種指標(達成指標、取組指標)の根拠や理由を職員全員が説明できる

主任等：
“縦”と“横”の連携のキーパーソン

- ✓ 学校運営の効率化をする
- ✓ 専門スタッフや関係機関等と連携体制を構築する

観点Ⅱ 目マネ

観点の肝

これらのことを、“最新・最適な状態”にアップロードする

◆ “有機的な”PDCAサイクルを回している

- ✓ 検証・改善フローの徹底⇒適切なスパン(短・中・長期)
- ✓ 徹底した要因分析に基づく検証の実施(例:「なぜ」を5回繰り返す)

“カリマネ”の推進へ

観点Ⅳ 目マネ

観点の肝

家庭・地域が学校と一体となり(協働し)、子ども、地域活性化に“力を結集する”

◆ 「目指す子ども像」を共有し、同じベクトルで取り組む

- ✓ 学校運営協議会が機能する

熟議で共通理解、及び方策を生み出す

推進部会で実働

検証改善:チームできてる? 役割分担は適切だった? 「14の業務」納得している? 等々

往還

学校運営の中核をなす“組マネ”